

# ●地震発生後の行動ポイント

地震の発生は「もしも」ではなく「いつも」あると考えておきましょう。

地震が発生

0分～2分

1 まずは自分の身を守る



揺れがおさまったら

2 揺れがおさまってから火の元の確認、火の始末、電源オフ

ガスは大きな揺れで供給が止まる仕組みが普及しています。揺れがおさまり安全になってから火の元を確認し、元栓を閉めましょう。また、電気のパレーカーを切りましょう。



3 避難経路の確認

揺れによって、ドアや窓がゆがみ、開かなくなっている事が考えられます。スニーカーなどを履きガラスの破片など足元に注意し、避難経路を確保しましょう。

4 家族の安否確認

家族の無事を確認しましょう。家族内で事前に決まり事を作っておくとよいでしょう。

5 津波情報を確認

南海トラフの地震発生後、約100分で津波が到達すると想定されています。津波警報、大津波警報が発表された際は、JR阪和線を目標に東の高い所へ避難しましょう。

6 避難・近隣の安全確認

急いで避難する。近所の家屋が倒壊して埋もれている人はいないか、火災は起きていないか確認しましょう。

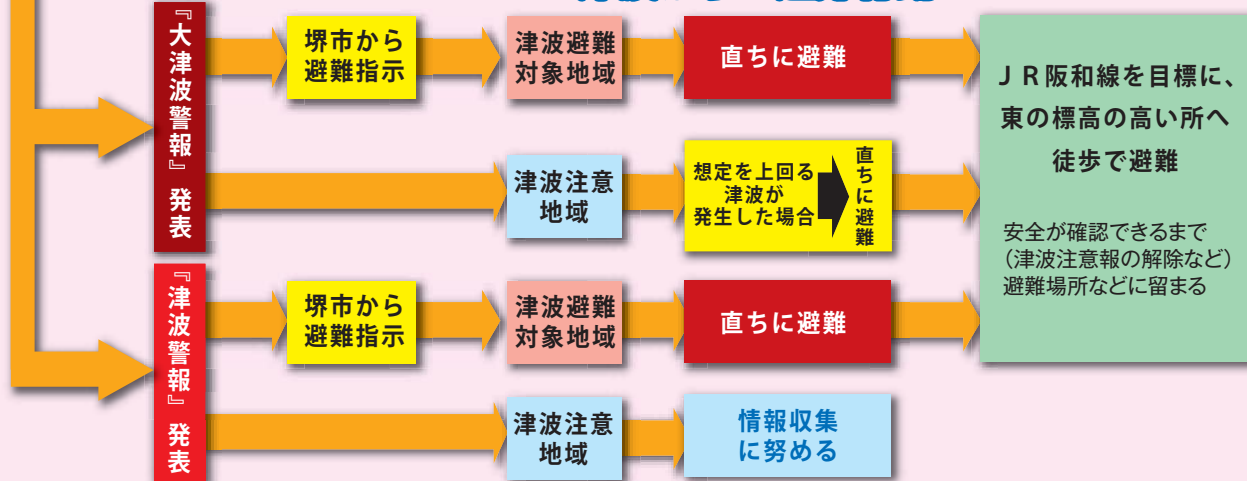


余震に注意しながら

地震発生から2～3分後

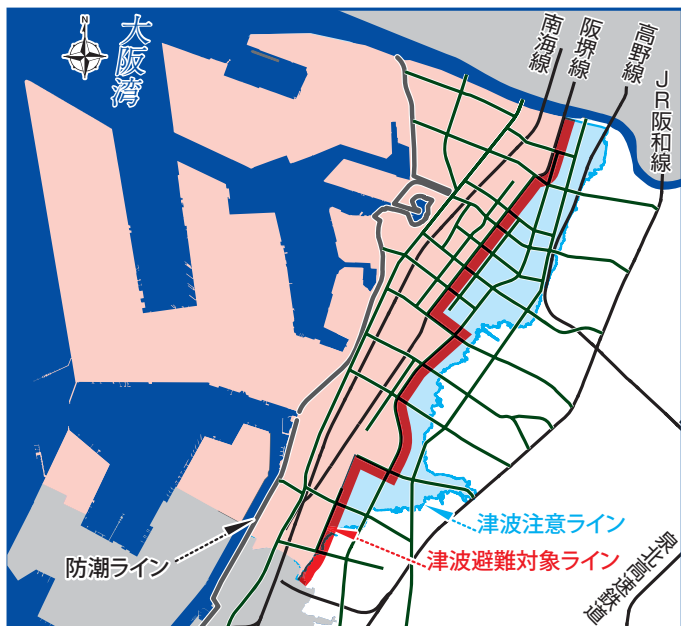
気象庁より津波に関する情報が発表

## 津波からの避難行動



地震・津波から身を守る

# ●津波避難対象地域・津波注意地域



津波避難対象地域

津波注意地域

津波警報・大津波警報が発表されたときは、直ちに避難を開始してください。

大津波警報が発表されたときは、直ちに避難ができる準備をしてください。

## 避難目標までの高低イメージ

津波は自然現象であるため、津波避難対象地域を超えてくるおそれがあります。津波注意地域よりさらに東の標高の高い所へ徒歩避難するようにしましょう。

堺市の道路(東西方向)断面図<イメージ>

